別添1（1）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名　　：　筑後広域公園芸術文化交流施設

２　指 定 管 理 者　　：　ちくごＪＲ芸術の郷事業団

３　指　定　期　間　　：　令和５年４月１日～令和１０年３月３１日

４　施 設 設 置 目 的　　：　筑後地域の芸術文化団体やまちづくり団体等との連携を図りながら、地域の情報発信や発展、文化振興に寄与する。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

（１）点　検　方　法　　：　事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果　　：　別添のとおり

別添1（2）

1　管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・施設の設置目的を踏まえ、地域との連携・協同を図りながら、地域の文化振興に寄与する。 ・全ての人が快適に施設を利用できる運営を行う。	・地元自治体やＮＰＯ法人等と連携を図りながら、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を３本の柱とする事業を実施している。 ・地域文化の振興のため、住民参加型のイベントや体験事業を展開し、文化交流施設としてのニーズに応えている。
②施設利用及びサービス向上	・より広域的な集客を図るため、九州新幹線主要駅でのＰＲやＳＮＳの活用等、効果的な広報に努める。 （目標：利用者数 72,000 人） ・利用者のニーズ等を把握し、利便性の高い施設を目指す。	・ＪＲ九州の筑後船小屋駅周辺の各駅及び博多駅や吉塚駅等の１４駅にポスターやチラシ等を設置、また、ＪＲ久留米駅や佐賀駅構内のデジタルサイネージ、列車１編成の全広告スペースを使うＡＤトレインを活用しイベントのＰＲを行っている。 ・子どもを対象とした体験事業「夏休みこどもアカデミー」「冬休みこどもアカデミー」では、筑後地域の各小学校に直接チラシを配布するなど集客に努めている。 ・利用者数：79,084 人（対前年度　+13.3%、対 R1 年度　+14.1%） ・施設の設置目的に沿って、施設の特性を活かした以下の事業を展開。 ・事業数：22 事業（対前年度　±0 事業、対 R1 年度　△5 事業） ・アンケート等により利用者の声を集約し、職員間で問題の解決と情報共有を行なっている。
③経営（収支）改善	・利用の促進と収入確保を目指し、経費の節減、経営の効率化に努める。 （目標：利用料金収入　2,800 千円）	・ＪＲ九州のネットワークを活用し、広報を行うことで稼働率向上と収入確保に努めている。 ・利用料金収入は前年度から増加し、事業収入は前年度からやや減少したものの、目標は達成している。 ・利用料金収入実績：4,774 千円（対前年度　+51.1%、対 R1 年度　+78.9%） ・県委託料（指定管理料）：134,546 千円（対前年度　+2.2%、対 R1 年度　+12.6%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・「高い専門性」「豊かな技能」を有し、地域文化の創出に情熱的に取り組む人材を確保する。 ・安定した経営と財政基盤を構築する。	・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門知識・技術と現場経験を有する職員を配置している。 ・担当職員が、美術館や博物館の研修受講等により専門的な知識や技能を習得している。 ・借入金はなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	・警備や巡回を定期的に実施し、利用者の安全確保に努める。	・来館者が安全快適に過ごせるよう、職員及び警備員による巡回や点検を定期的に実施し、危険個所の早期発見及びマニュアルに沿った迅速な対応を行っている。

2　点検結果

□ A＋（提案内容を上回った） ○ A（提案内容をやや上回った） □ B（概ね提案内容どおり） □ C（提案内容をやや下回った） □ D（提案内容を下回った）	【総合コメント】 ・施設の設置目的を踏まえ、地域と連携したイベントや体験講座の実施など、施設の特性を活かした文化事業を実施している。 ・利用者のニーズを把握し、高齢者や障がい者に配慮した対応を行うなど、施設利用者へのサービス向上に努めている。 ・「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を３本の柱に据え、年間で 22 事業を実施し、利用者の増加につながっている。 ・ＪＲ九州のネットワークを活用した広報を展開し、稼働率向上と収入確保に努めている。 ・利用者数及び利用料金収入は、目標数を上回っている。